

# 週刊 タバコの正体

2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0の大地震が東北地方太平洋沖で発生し、この地震による巨大津波が東北地方を襲い1万5884人もの人命を奪いました。



あれから丸3年がたちました。

当時の惨状は、直接被害を受けなかった私たちの記憶からどんどん消え、日常生活のなかで思い出す事は、ほとんどなくなってしまいました。しかし、今もなお行方がわからない人が2636人もいる被害を受けた地域やそこで暮らしていた人達には、この災害の爪痕は消したくても消えることがないだろうと思います。

あの日突然、身の回りの全てのものがなくなってしまい、大切な家族や友人、恋人までも奪われた悲しみを私達には想像できるでしょうか。そしてそれから3年の日々をどんな思いで生活してきたか。亡くなられた方々のご冥福を祈りつつも、その人々がまわりの人達にどれだけ必要とされていたのかを考えさせられます。

あなたの命はあなただけのものではありません。あなたのまわりの大切な人のためにも、君たちは健康でいなければなりません。3月11日という特別な日を機会にそのことを忘れないで下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久